

一般質問（令和5年第3回定例会）

質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
川浦 雅子	1. 学校教材費について (追跡質問)	1. 保護者負担の軽減について タブレットの保険代をはじめ、学校教材費への負担が年々増えているように思えるが、保護者の経済的な負担軽減の取組に対する町の考えを伺う。また、以前に質問した際の答弁後の取組や研究検討結果を伺う。
	2. 路肩や側溝整備について	1. 雑草除去等危険防止について 道路側溝に蓋が無く、雑草も生い茂っている箇所が通学路でも見受けられるが、道路維持の計画的な整備・取組に対して町の考えを伺う。
	3. 介護制度の補完について	1. 回復期や、その後の支援の必要性について 日頃の努力から回復傾向になり、要介護認定が下がることは喜ばしいと思うが、利用できる介護サービスも少なくなるため、日常生活に支障が出ることもある。 日々の介護負担や生活不安解消に向けた町の考えや取組を伺う。
四方田 繁男	1. 若者による地域づくりの推進について（追跡質問）	1. 若い世代の意見聴取の機会提供や環境整備について 町の将来を創造するためには、これから町を担っていく若い世代の意見を聞き、それを町政に反映させていくことが大切だという主旨で令和3年6月議会にて質問したが、令和5年4月より「こども基本法」が施行され、若い世代の意見聴取の機会提供や環境整備をはじめ、その意見をどのように町の施策に反映させていくのか、改めて町長の考えを伺う。
	2. 外出支援タクシー利用料金補助事業について	1. 利用額の上限拡大について 町では、1乗車当たり3千円（券6枚）年間では最大72枚を上限に外出タクシー利用料金補助事業を実施しており、交通手段の乏しい方にとってとても有効な事業と考える。 しかし、昨今の物価の高騰により利用者の経済的負担は増加する一方であることが、想定されたことから、利用の一回当たりの補助額及び年間交付枚数の拡大が必要と思うが町長の考えを伺う。

<p>剣持真菜美</p>	<p>1. 児童・保護者の不安解消の対策について</p>	<p>1. すべての児童・保護者が不安解消できる環境整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本町の児童、保護者による小学校生活において、不安感の解消は必要と思うが、現状をどのように認識し、具体的な対策を講じていく考えであるか、伺う。 ・不登校児童のための教室設置及びさわやか相談員の配置について伺う。
<p>新井 太一</p>	<p>1. 職員の人事異動について</p> <p>2. 町づくりのための、小水力発電の導入促進について</p>	<p>1. 職員の人事異動の時期について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町では、毎年4月に人事異動が発令されているが、前年度事業の完了や出納閉鎖後の異動の方が、業務の効率化が図られ、業務の引継ぎ誤りも抑制されると思うが、町長の考えを伺う。 <p>1. 町の河川や農業用水路などを利用した分散電源としての小水力発電の導入について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災以降、再生可能エネルギーの活用が著しい成長を遂げた。しかし、これらの多くは太陽光発電であることから、今後の太陽光発電パネルの処分による環境負荷が懸念されている。町の自然環境を生かし、比較的安定した発電が可能な「小水力発電」を広く整備促進し、発電電力を災害時や地産地消エネルギーとして活用することで、地域経済の安定化及び活性化に繋がると考えるが、町長の考えを伺う。
<p>野口 弘吉</p>	<p>1. 歳入確保について</p> <p>2. 国道254号本庄藤岡間バイパス及び新橋の早期実現について</p>	<p>1. 今後の町独自の歳入確保について</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大や物価高騰による経済活動の停滞で、町税等の先行きが不安ななか、今後のまちづくりにおいて、どのように歳入を確保していくのか、方針を伺う。</p> <p>2. 小水力発電の検討について</p> <p>小水力発電の導入には、水利権や許認可など、複雑な手続きがあると思うが、町の歳入増加や再生可能エネルギーの活用の可能性からも、小水力発電の事業化を検討してはどうか。</p> <p>1. 県の動向や町の考えについて</p> <p>新橋及びバイパス路線を新設することにより、県境での交通渋滞が解消されるとともに、地域の発展に繋がることが期待されることから、藤武橋と国道462号神流橋の間に新橋建設及び取り付け道路の整備に向けて、藤岡市や本庄市と「国道254号本庄藤岡間バイパス建設促進期成同盟会」を組織し、毎年、埼玉県に要望している。国道254号本庄・藤岡間バイパス及び新橋の早期実現に向けて、県の動向や町の考えを伺う。</p>

落合 周一	1. 町の活性化について	<p>1. イベント開催による町の活性化及び町独自の取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の発展に向けて、イベント内容の工夫が必要と思うが、町長の考えを伺う。 ・町の元気を取り戻すための観光や農業の取組を伺う。 ・住民コミュニティの新たな形成のため、新しい取組みについて、町長の考えを伺う。
赤羽奈保子	1. 小学校の統合について	<p>1. 基本方針の具体的な進め方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全上の不安や充実した教育の実現として、スクールバス等の交通手段の確保とあるが、具体的なスクールバス等の配置や金額を含めた試算内容を伺う。 ・複式学級の早期解消を目指すとはあるが、統合を前提にした複式解消ではなく、小規模特認校をはじめ、町独自の取組みについて、見解を伺う。 ・小学校適正規模・適正配置に係る基本方針による小学校統合の具体的な進め方を伺う。
	2. 放課後の居場所づくりについて	<p>1. 小学校統合と子ども達の居場所づくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援として「子どもの居場所の確保」を施策としているが、小学校適正規模・適正配置に係る基本方針には、具体的な記載がないので、基本方針と一緒に考えていく必要はないか。 ・子育て支援体制の充実に向けて、経済的な格差是正や地域や関係機関との連携強化を進めるためにも、町として積極的な取組みを考えてはどうか。
福島 康弘	1. 既存施設の有効活用について	<p>1. ゆ〜ゆ〜ランドの施設拡充について</p> <p>人口減少や少子高齢化社会では、既存施設の有効利用が重要と考えている。</p> <p>ドッグランはペットを自由に遊ばせることができ、公園内での犬をめぐるトラブルの減少も期待されるが、町内の公園には、ドッグランのある施設は無いと思うので、ゆ〜ゆ〜ランドに、ドッグラン施設を設置すべきと考えるが、町の見解を伺う。</p> <p>2. 渡瀬小学校の利活用について</p> <p>小学校適正規模・適正配置に係る基本方針では、統合に向けたスケジュールはあるが、統合後の施設利用の具体的な記載はないことから、渡瀬地域を支える施設として、どのような施設活用が必要と町は考えているのか伺う。</p>

<p>坂本 貴佳</p>	<p>1. 教育の環境について</p>	<p>1. 教職員の残業、教員調整額について 教職員は県職と理解しているが、町採用の教師の残業手当を含め、教育委員会として、教師の給与（残業手当相当分）に対して、どのように予算を確保し、対応しているのか伺う。（追跡質問）</p> <p>2. 部活動の地域サポーターの現状について 文部科学省から教職員の負担軽減対策で、地域のサポーター対応の方針があったが、教育委員会としての対応や、その後の取組状況を伺う。</p>
--------------	---------------------	---